NEWS RELEASE

報道関係者各位

2025 年 3 月 28 日
株式会社ブレインパッド
Fairy Devices 株式会社
株式会社 BrainPad AAA

ブレインパッド、Fairy Devices、BrainPad AAA が マルチモーダル AI 分野において業務提携
― 協業第一弾として、現場業務の DX を支援する AI ネイティブなウェアラブルデバイス “作業動画解析 AI エージェント”を市場投入 ―

株式会社ブレインパッド（所在地：東京都港区、代表取締役社長 CEO 関口 朋宏、以下：ブレインパッド）、Fairy Devices 株式会社（所在地：東京都文京区、代表取締役 藤野 真人、以下：Fairy Devices）、株式会社 BrainPad AAA（ブレインパッド エーキューブ、所在地：東京都港区、代表取締役 辻 陽行、以下：BrainPad AAA）は、マルチモーダル AI（*1）分野において業務提携したことを発表します。3 社は、本提携・協業の第一弾として、現場業務の DX を支援する「作業動画解析 AI エージェント」を共同で開発しました。本 AI エージェントは、同技術をさまざまな現場の技術作業に活用する新しいソリューションとして、今夏の提供開始を予定しています。



首掛け型ウェアラブルデバイス「THINKLET」（写真左）と、装着イメージ（写真右）

●「作業業動画解析 AI エージェント」に関する資料は、こちらからダウンロードできます。
https://go.brainpad.co.jp/pf/wp/ai_agent_for_work_videos

「作業動画解析 AI エージェント」は、ブレインパッドが設計し BrainPad AAA が開発した、産業現場のさまざまな作業動画を解析する AI エージェントで、Fairy Devices のマルチモーダル AI ライブラリによって首掛け型ウェアラブルデバイス「THINKLET」と連携します。「THINKLET」を装着した技術者や作業員が自身の作業を行うだけで、デバイスが記録・配信する音声や映像、各種センサーデータを AI エージェントが処理・解析し、作業に関する手順書・マニュアルや報告書を自動生成できます。また作業員は、緊急時には遠隔から支援を受けることもできます。加えて、解析結果を蓄積することで、現場からの問い合わせに対し、エージェントが解析結果にもとづく回答を提示することも可能です。こうした機能により、企業は、作業の脱属人化や手順の言語化、煩わしい報告業務から解放されるほか、現行作業のワークフローの改善にも有効活用できます。



Fairy Devices は、マルチモーダル AI 技術を活用して現場業務のデジタルトランスフォーメーション（DX）を支援する研究開発企業で、ソフトウェアとハードウェアを統合したテクノロジーを提供しています。主力製品であるウェアラブルデバイスの「THINKLET」は、AI にとって適切な学習・解析データを収集し、AI との円滑なコミュニケーションを行うために開発されました。人間工学に基づいた軽量のハンズフリーデザインであり、頭に付けるタイプのウェアラブルカメラやスマートグラスに比べて、現場作業者の負担が少なく、モバイル回線を通じてクラウドから全ての操作を制御可能であるのに加え、画角が安定し産業現場の騒音環境でも利用可能であることが大きな特長です。同社の AI 技術を活用した製品は南極をはじめ世界中の現場で活用され、評価を得ています。
今回の新ソリューションには Fairy Devices がこれまで培ってきた、マルチモーダルデータ（動画像／音声／GPS／各種センサーなど）やエッジデータの処理、ネットワークを介したデバイスのリアルタイム制御、そして「人と機械が円滑にコミュニケーションするための各種 AI 技術」が提供されます。今後、こうしたマルチモーダル AI を「THINKLET」の既存ユーザに追加することも可能となります。

BrainPad AAA は、AI エージェント事業に特化したブレインパッドの子会社であり、ブレインパッドグループにおいて自律型 AI エージェントの開発全般を担っています。今回の新ソリューションにおいては、「THINKLET」で収集・エッジ処理した現場のマルチモーダルデータを解析し、現場　からの問い合わせに回答する AI エージェントの機能開発と UI・API 開発にあたります。また、ブレインパッドと密接に連携することで、現場のニーズを吸い上げ、機能の汎用化に向けたアップデートを高速に実行します。

ブレインパッドは、顧客に寄り添ったデータ活用のプロフェッショナル集団として豊富な実績を有しています。本件においてもデータ解析のほかユースケースの探索やコンサルテーションを基軸として、顧客対面で現場の業務調査や課題発見、施策の落とし込みを行い、各産業に特有のユースケースや各社の事情に即したインプリテーションを実行します。また顧客がより活用度を高められるよう、データ・AI 活用人材の育成を通じた内製化も支援します。

ブレインパッドグループは、さまざまな産業現場の個々のプロジェクト・組織を横断的に管理、支援することで、特定の分野に閉じないマルチモーダル AI の知見を流通させるとともに、現場に寄り添った AI エージェントの普及を推進します。

■「作業動画解析 AI エージェント」の想定活用シーン

「作業動画解析 AI エージェント」は、作業の改善余地の抽出や現場で見落とした異常の検知、作業後に異常が発見された際の原因特定などに特に有効です。これにより従前からスマートファクトリー化等で進められてきた機器側のセンサーデータ解析に加えて、これまでは獲得が困難だった作業者視点での知覚情報やノウハウなど人と機械の OT（オペレーショナルテクノロジー）データが掛け合わされ、現場全体を把握した AI の高度な判断と作業者の手による物理的な問題解決能力が組み合わされます。本 AI エージェントは、幅広い業界や産業分野の現場作業における活用を想定しており、具体的な例は以下の図の通りです。



3 社は、さまざまな業界の現場業務で人手が不足し、ノウハウの共有や技能伝承が加速度的に進まなくなっているといった構造問題を背景に、協業の第一弾の成果となる「作業動画解析 AI エージェント」を開発しました。同ソリューションには、各社の技術的な強みと実際の顧客対応を通じて培った実績やノウハウが活かされています。今後の強化として、熟練者と新人の作業の差分や通常手順と違うシーンの発見など、現場だけでは気付き難い観点を AI で検知することを目指しています。3 社は今後も協力してマルチモーダル AI を業務や生活のさまざまな用途やシーンに適用し、課題の解決や効率性、安全性の向上を図っていきます。

「作業動画解析 AI エージェント」のビジネス展開において、3 社は共同でのマーケティング活動も展開していきます。その第一弾として、本年 4 月 15 日より開催される「AI・人工知能 EXPO」に出展し、本 AI エージェントのデモンストレーションを実施します。

＜出展情報＞
イベント名： 第 9 回 AI・人工知能 EXPO【春】
公式 URL： https://www.nextech-week.jp/hub/ja-jp/visit/ai.html
会期： 2025 年 4 月 15 日～17 日
会場： 東京ビッグサイト
出展社： Fairy Devices 株式会社

●株式会社ブレインパッド 代表取締役社長 CEO 関口 朋宏のコメント
日本の基幹産業である製造業は高齢化や労働人口の減少により、より高い生産性が求められるだけでなく、日本企業の強みである「匠の技」の伝承が大きな課題となっています。また、製造業のみならずさまざまな産業においても、人の知恵と技術により積み重ねてきた日本企業独特の技術と品質が失われていく危機と向き合う必要があります。「データ活用の促進を通じて持続可能な未来をつくる」という Purpose を掲げる当社グループは、高い技術力を有する Fairy Devices と共同でこの重大な課題の解決に取り組んでまいります。この取り組みを通じて、AI エージェントが産業や企業にもたらす価値、AI と人が共生する姿を世に示していきます。今後の展開にご期待ください。

●Fairy Devices 株式会社 代表取締役 CEO/CTO 藤野 真人のコメント
当社は創業以来一貫して、「人と機械が共に暮らす世界」を実現するための研究開発を継続してまいりました。今回の取り組みで顧客接点や現場インプリメンテーションから、インターネットに存在しない OT の情報が新たに数多くデータ化され、学習・解析され、人に対する AI の理解がより深まることで、機械が人のパートナーとしてより近づきます。
ブレインパッドの顧客対応力、BrainPad AAA の開発力と弊社の研究能力が掛け合わさり、テクノロジーの活用と社会実装がより進むことを確信しています。

●株式会社 BrainPad AAA 代表取締役 辻 陽行のコメント
当社はブレインパッドグループの AI エージェント事業を担う企業として、最先端の AI 技術を活用した実用的なソリューション開発に取り組んでおります。今回の「作業動画解析 AI エージェント」では、マルチモーダル AI を活用し、これまで捉えることが難しかった現場作業データや OT データを効果的に収集・分析できるシステムを構築しています。マルチモーダルな認識能力を持つ AI エージェントがより多くの現場で活用されることで、人手不足や技能伝承の断絶といった社会課題の解決に貢献できるよう、引き続き AI エージェント開発を進めてまいります。

（*1）マルチモーダル AI とは、画像や動画、音声、テキストといった複数の異種データを一度に処理できる AI 技術のこと。

■ご参考情報
●株式会社ブレインパッドについて（https://www.brainpad.co.jp/）
（東京証券取引所 プライム市場：証券コード 3655）
本社所在地：東京都港区六本木三丁目 1 番 1 号 六本木ティーキューブ
設立：2004 年 3 月
代表者：代表取締役社長 CEO 関口 朋宏
資本金：597 百万円（2024 年 6 月 30 日現在）
従業員数：545 名（連結、2024 年 6 月 30 日現在）
事業内容：データ活用を通じて企業の経営改善を支援するプロフェッショナルサービス、プロダクトサービス

●Fairy Devices 株式会社について

フェアリーデバイセズ株式会社は、人類のあらゆる叡智を流通可能にするために、VUI（※a）・VPA（※b）関連技術や音声関連技術、クラウド基盤、それらの性能を活かすエッジデバイスの研究開発を行っています。インターネットに存在しない現場情報を機械学習が可能な形でデータ化し、学習・解析を進めることで、最先端の応用研究を実装した業務ソリューションをソフトウェアからハードウェアまで一気通貫で現場に提供しています。

（※a）VUI：Voice User Interface の意味

（※b）VPA：Voice Personal Assistant の意味

●株式会社 BrainPad AAA について

本社所在地：東京都港区六本木三丁目 1 番 1 号 六本木ティーキューブ

設立：2025 年 3 月

代表者：代表取締役 辻 陽行

資本金：1 億円

事業内容：AI エージェントサービスの開発・提供、AI エージェント活用のコンサルティング

■本ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社ブレインパッド

コーポレートユニット 経営企画部 広報担当

e-mail：eua_pr@brainpad.co.jp

＊本ニュースリリースに記載されている会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

＊本ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。

以上